



熊本大学名誉教授・崇城大学名誉教授・RIST相談役

山田 仁穂 先生を偲ぶ

熊本大学 名誉教授
RIST相談役(元会長)

村山 伸樹

平成30年12月4日に山田仁穂先生が亡くなりました。享年93。心から哀悼の意を申し上げます。

山田先生と初めてお会いしたのは、平成元年10月のRIST発足会の時でした。上野文男先生に連れられて山田先生の前でご挨拶すると、「君が村山君か。変わった分野をやっているね。これから先は若い人が活躍せんとね。期待しているよ」と言われたことを思い出します。その後10年間、先生はRISTの監事をされておられましたが、私の方は研究会の参加が主でしたのでお会いすることはなく、もっぱらRIST幹事会や総会の後の懇親会でお会いしていました。お会いすると、いつもニコニコしながら、「研究はうまくいっているか？この前新聞記事で君を見たよ。頑張っているな」と励ましをいただいていた。

本当にRISTの件でご相談したのは、私が会長になり、RISTを存続させるべきかどうかを迷った時でした。「村山君、RISTは絶対やめたらいかんよ。やめたら二度とできんよ。一人になるまでやめるなよ。僕も加勢するから」と強い口調で言われ、会の存続を決めたことを今でも覚えています。これがRISTの新たな再生につながったかと思うと感慨深いものがあります。

また、この時期に山田先生の教え子で、松山で寝具店を開いている方を連れてこられて、「彼が熟睡できる枕を開発したが、その証明ができないか?」と言われました。この時から睡眠計測の研究が始まったわけですが、その結果がようやく得られて山田先生にお知らせしたところ、御依頼された方はお亡くなりになられたと寂しそうに言われたことを思い出します。

このご相談の後、先生は、ご高齢にもかかわらず、いろいろな研究会に積極的に参加されておられる姿を拝見していました。そして、会が終わるといつもニコニコして「頑張っているね」と声をかけていただきました。山田先生が亡くなった今、山田先生を思い出す時、この言葉が私の心に強く響きます。

5年前の1月にお電話があり、「村山君もう年賀状を書くのが億劫になった。来年から出さないからね。それから、RIST研究会も盛会になってきたから、もう休みにするよ」と丁寧にご連絡をいただいたのが、お声を聞いた最後になりました。山田先生のRISTに対する情熱と愛情を、私も忘れずに引き継いでいこうと思っています。ご冥福をお祈りいたします。

(写真提供:熊本大学工業会)